

学校教育目標		重点目標（中・長期的目標）		最終評価と改善策					
		今年度目標		成果と課題（中間）			改善策・向上策		
				A	B	C			
憲法及び教育基本法に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 課程・学校の性格を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。		1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を発揮できるよう努力する。		(1) 人権意識を高め、挨拶、清掃から始まり部活動や生徒会活動などを集団として協力し合い、他人のため社会のために自分の力を使うことのできる社会人の育成に努める。 (2) 生徒が学ぶことを楽しみ、向上心をもって学べる授業作りに、全職員が協力して取り組み、体罰やいじめのない安全・安心な「風通しのよい」学校を作る。また、普通科、商業科、それぞれの特色を活かし、生徒の潜在能力を引き出すために、下支えとともに上に引き上げる工夫を行う。 (3) 学校創立100周年を目前として、地域に根ざし、地域から愛される学校となるよう、生徒会、PTAと力を合わせ開かれた学校作りを進める。			○		文化祭では、執行役員以外の生徒によるボランティア的な作業に参加する姿が見られるなど、全体のために活動できる生徒が増えてきた。ほかの場面にも波及させたい。
				○			授業アンケートによると、90%以上の生徒が、概ね、わかりやすく充実した授業であると感じている。2学期以降の中だるみを解消したい。いじめ・体罰は出ていない。		
					○		ホームページ等による情報公開は、積極的に行われたが、より多くの人に親しまれる情報提供を心掛けたい。		

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題（中間）	A	B	C	改善策・向上策
教育活動	教育課程	入試動向を見据えた教育課程の改訂を行う。	入試動向に関する情報を精査し、本校生徒の実情に合致した教育課程を編成できたか。	新テストに向けた検討を行う必要がある。		○		新テストに向けた検討を本格的に行う。
	進路指導	進路指導	(1) 主体的な進路選択と個に応じた進路実現の支援 (2) 生徒、職員、保護者に向けた進路情報の共有化	(1) 支援を充実させることができたか。 (2) 情報の共有化を図ることができたか。	個別指導について、継続的な指導体制ができあがっているが、さらに工夫が必要。進路選択の場面で安易な方向に流れないように対応が求められている。情報過多にならないよう精選した情報を生徒に提供していく。		○	進路指導について、分掌を超えた横断的な議論が必要と考えている。学校運営検討委員会を柱にした学校全体の方向性を模索することが求められている。教育活動全体での進路指導の在り方についてさらに議論し合意形成していく段階にある。
		キャリア教育	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進	キャリア教育の推進ができたか。	2学年で就業体験を実施した。		○	
	人権平和教育	人権平和教育の推進により、人権に対する意識を高め、平和な社会の実現を目指す生徒の育成を図る。	(1) 人権平和教育について、生徒職員への啓発ができたか。 (2) 実施時期、内容は適切であったか。 (3) 各学年、係等との連携が図れたか。	(1) 5月に新聞記事の資料を活用し「憲法学習」を行った。(感想文) (2) 10月に弁護士「青木謙一」氏による「人権・平和」講演会を実施した。(感想文) (3) 12月に平和学習を行った。(意見感想文)、(1)(2)(3)の行事により人権意識の高揚や醸成等に貢献できた。更なる向上に努めたい。	○			計画通りに人権学習を実施することができた。人権意識の高揚を図ることができた。
	図書	(1) 楽しく、豊かな読書体験の環境を整える。 (2) 教科や係と連携して、主体的な学習の援助を行う。	(1) 新着図書紹介や読書に関する様々な情報を図書館から発信できたか。 (2) 生徒・職員が必要とする資料やサービスを提供できたか。	(1) 新着図書案内・図書館便り・図書委員会便りなどを継続的に発行。 (2) 図書の紹介展示やイベントを工夫し、資料提供充実・図書館利用促進に努めた。	○			図書館サービス・図書委員会活動を更に充実させ、読書や学習をサポートする。全校朝読書の充実の方策を検討する。
	視聴覚	(1) 芸術鑑賞(音楽鑑賞)を通じて、芸術に触れる姿勢や態度の育成を図る。 (2) 情報モラル教育を推進する。	(1) 芸術鑑賞時のマナーを身につけられたか。 (2) 教科(情報を中心とする)や特別活動を通じて、情報モラル教育を推進できたか。	(1) 6月に芸術鑑賞会を実施した。生徒からも好評であった。また、鑑賞態度も良好であった。 (2) 教科情報において、情報モラルに関する内容を扱っている。		○		ほとんどの生徒がLINEなどのSNSを利用している現状を踏まえ、情報モラルに関する意識を今後も高めていく必要がある。
	生徒指導	(1) 挨拶の励行・身だしなみの改善を図る。 (2) マナー・モラルの推進を図る。 (3) 安全で安心して生活できる学校および学習環境整備を図る。 (4) 人権教育の推進を図る。	(1) 身だしなみや挨拶に自ら気を配る姿勢を身につけられたか。 (2) 登下校時の状況に改善の跡が見られたか。 (3) 安心して学校生活ができる環境が整えられたか。また、清掃を含め、校舎内の学習環境を整えられたか。 (4) いじめ・暴力などの事案に毅然とした対応ができたか。	身だしなみ指導においては、特にクラスマッチや文化祭などの行事の後乱れるものがあり、その後の改善に時間がかかった。その他、あいさつ・礼儀、清掃についてはよくできている。	○			身だしなみ指導において、各学年・担任の先生方の協力により、成果が出てきている。問題行動の発生件数はほとんどなかったが自転車盗難被害が7件と多く、近隣住民からの通報ですべて持ち主に帰ったが施錠の徹底を含めて引き続き注意を促していきたい。いじめ、暴力事件は、発生していないが、目に見えない情報教育の必要性を感じる。
	教育相談	(1) 心の問題を抱える生徒への対応を行う。 (2) いじめが起らないような体制を作る。 (3) 学年会との連携を密にとり、生徒の状況把握をする。 (4) 関係職員や保護者への支援体制を作る。	(1) ①問題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 ②担任・学年会としてしっかり連携がとれたか。 (2) 生徒への啓蒙活動や情報の収集ができたか。 (3) 生徒の状況把握がしっかりできたか。 (4) スクールカウンセラーをはじめ、外部機関との連携がとれたか。また、校内でのチーム支援ができたか。	(1) ①心に問題を抱える生徒に対して担任・学年・カウンセラーと連携しながら対応にあたった。また、医療機関につなげるケースもあり、医療機関との連携をとり、アドバイスをもらうことができた。 (2) (3) 生徒の状況把握については担任・学年から連絡を受け、係としての対応をすることができた。			○	担任や学年との対応の中で、連絡不足や認識不足があり、円滑に進められなかったことがあった。最初からしっかりとした組織(チーム)を作ることが大切であると感じた。次年度の課題としていきたい。
	生徒会	(1) 自治活動を通じて社会性・市民性の育成を図る。 (2) クラブ活動に積極的に参加し、取り組むことのできる環境づくり。 (3) 地域やPTAとの連携。	(1) 生徒会活動を通じて成長がみられたか。 (2) クラブ活動への加入率、および活動実態はどうであったか。 (3) 地域やPTAとの交流の機会を積極的にもつことができたか。	(1) 執行部などの役員は各学校行事を企画運営することによって成長することができたが、他の委員や委員会に所属していない生徒が生徒会活動に積極的に参加できる機会を考えた。 (2) クラブ加入率、活動状況は例年以上で、県大会に多くのクラブが進出し北信越大会にも複数のクラブで進出することができた。 (3) ボランティアスタッフとして、おもに地域のイベントへ積極的に参加することができた。			○	数年前に比べると、生徒会役員以外の生徒が文化祭の準備に進んで参加するようになってきているので、さらに参加する生徒を増やせるような工夫をしたい。イベントやそれ以外の面で、地域と関わる機会を多く作れるよう検討したい。
	美化	(1) 校舎内外の美化。 (2) ゴミの分別の徹底。	日々の清掃活動およびゴミの分別やその周知が適切に行われたか。	(1) 全体的にはほぼ出来ているが、常日頃から汚さない意識を持たせるような指導も大切である。(2) 部室からのゴミの分別が不十分である。			○	(1) 汚さない意識を持たせ、より一層きれいにを心掛けさせたい。(2) ゴミがたまらなくても、毎回捨てさせる習慣をつける。
保健	(1) 健康教育の充実。 (2) 生徒一人一人の健康状態の把握と保健管理。	(1) 健康維持増進のための健康教育が適切に行われたか。 (2) 健康診断と事後指導は適切に行われたか。	(1) 学年と協力し性教育講話を実施。12月に薬物乱用防止教育を予定。(2) 各健康診断結果通知の他に全ての検診をまとめた「定期健康診断結果のお知らせ」を配布し、未受診者へは受診勧奨をした。			○	特に冬季の感染症予防に関して、手洗い・うがいの励行を呼びかける。	
学校運営	教務	庶務	(1) 本校教育活動の円滑な運営 (2) 100周年記念事業実行委員会と連携し、事業計画の充実を図る。	(1) 諸行事の計画段階で、昨年の反省を活かすことができたか。 (2) 100周年記念事業に、教職員や生徒が積極的に関わることができたか。	(1) 関係する諸行事については、昨年度の反省を企画立案を活かすことができた。 (2) 100周年記念事業は、分掌をもとにした係の割振りがおわたったところであり、具体的な活動は多くがこれからである。		○	反省職員会で出された要望等を検討し、さらに円滑な学校運営を目指す。また、100周年記念式典の会場等も決まり、当日の日程・役割分担の検討を開始する。
		広報・情報	(1) 情報発信の際、学校を地域に開くことを意識して行う。なかでも創立100周年をアピールするためにもホームページを活用する。(2) ネットワークの更新を前に、サーバー内のファイルの整理を進める。	(1) 新たに、クラブ活動、生徒会活動、100周年に関するホームページの充実がなされたか。(2) 段階的にサーバー内のファイル整理を進めることができたか。	(1) 学校行事等はホームページに欠かせない写真を用意して親しみのもてるページとなっているが、クラブ・100周年に関しては担当の協力を得て充実させたい。(2) 県のサーバへの接続が、すべてのパソコンで終了することができた。ファイルの移動はこれからの課題。	○		ホームページを日々更新することができた。外部からの掲載要望をいただくこともあり、求められる内容を前もって掲載できるようにアンテナを高くしたい。校内ネットワークの更新も進んでいる。
		防災	防災意識を高め、避難の方法・手続きの定着を図る。	防災意識を高めることで、避難訓練の状況は変化してきたか。	9月に防災避難訓練を実施し、防災意識を高めた。			○
	予算施設	(1) 学校予算について検討協議する。 (2) 校内施設や設備の管理について協議推進する。	(1) 備品購入費・需用費が適正に執行できたか。効果的に運用されたか(2) 校内施設が有効利用されたか。整備・修理が適正に行われたか	(1) 適正に執行できた。 (2) 来年度のクラス配置については今後検討する。			○	(1) 引き続き適正執行につとめる。(2) HR教室はできるだけ普通教室におさめるよう検討する。
	学校運営検討	学校運営上の問題等について検討し方向性を出す。	学校運営上の問題に対して迅速に対応できたか。	大学入試改革に係る新テスト対応の取り組みをどうするかについて、早急に討議を進める必要がある。職員研修をどのようにするのかを年度内に議論する。			○	早急に取り組みしなければならない課題であるにもかかわらず、委員会をもつことができなかった。次年度は年度当初四月中に委員会を持ち、取り組みの具体的な課題を明確にする。
	P T A	P T A活動の円滑な運営と多くの保護者の参加の促進	保護者と職員が協力して、生徒のための活動ができたか。	例年通り、保護者と職員が協力して計画通り活動を行うことができた。			○	多くの方々に協力を呼びかけながら、年度計画に沿って活動していく。
	同窓会	創立100周年記念事業実施に向けて、準備を進める。	同窓生はもとより、教職員・生徒・保護者等、より大勢の力を結集するために話題提供に努めることができたか。	募金活動が緒についたところである。大勢の力があって初めて成功する募金活動であるので、これから協力を求めていきたい。			○	創立100周年記念事業について、機会をとらえて校内でも情報提供に努める。
	学校評議員会運営	学校評議員会を効果的に運営する。	学校評議員からの意見や要望を学校運営に生かすことができたか。	第1回を6/8(月)に開催し、各係の基本方針や今年度活動計画を説明した。			○	今年度は年3回開催することにし、評議員さんからの助言を得る機会を増やした。適時開催と内容を再検討していく。
安全衛生	教職員の健康管理の推進を図る。	全職員に対して健康診断の実施と事後措置を実施できたか。	超過勤務の実態調査を行い職員会議に対処策を提案し、健康診断の受診を強く呼びかけることができた。引き続き、職員の健康状況の把握に努めていく。	○			超過勤務の課題は残されているが、委員会を開催して職員の超過勤務調査や健康状況の把握に努め、職員会議に報告・提案をした。	